

鳥獣保護管理プランナー

坂庭 浩之

対象鳥獣
二ホンジカ

活動地域
群馬県

群馬県林業試験場

事業内容

平成27年度 赤城山麓有害鳥獣対策協議会推進会議

事業の背景

群馬県の中央部に位置する赤城山では、北部からの二ホンジカの移入・拡散により分布域の拡大と密度の増加が問題となってきた。赤城山山頂に位置する白樺牧場では100頭を超えるシカの集合が確認され、スギ、ヒノキの植栽木に加えアオダモ、ウラジロモミなど食害の発生が顕在化してきた。赤城山周辺の6市村による推進協議会が設置され対策について協議が行われた。

依頼を受けて実施した内容

鳥獣保護管理プランナーとして、赤城山で行ってきた調査結果から二ホンジカの分布域の変化、増加のスピード、捕獲による対策効果などを説明し周辺6市村が置かれている状況を再確認し、具体的な捕獲技術について解説した。

二ホンジカの増加は牧場などの良好な餌環境下では、移入と繁殖により年率2倍程度の増加があることや、1km²単位での捕獲目標を設定することで、確実な減少効果が得られること、効率的な捕獲には「鉾塩」による誘引捕獲が当該地域では有効であることを説明した。

計画的な捕獲が行われた牧場における目撃頭数（ライトセンサスによる）の減少（図1）と捕獲圧が不足する牧場での目撃頭数の増加（図2）などデータを示し、計画的な捕獲が重要であることを解説した。

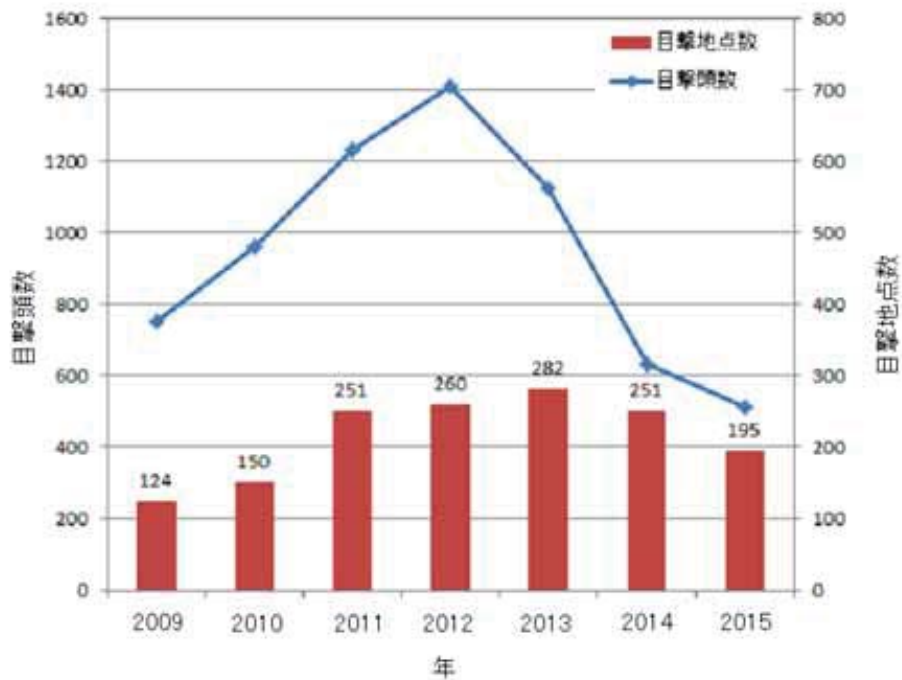


図1：計画的な捕獲が行われた牧場における目撃頭数（ライトセンサスによる）



図2：捕獲圧が不足する牧場での目撃頭数（ライトセンサスによる）